

新収 入役 宇賀和彦氏に決まる

元県庁の開発総室技監



事務の引継ぎをする宇賀新収入役(右)と川添前収入役(左)

市は任期が満了した収入役に宇賀和彦氏(六二)を選任、十二月定例市議会で同意されました。

宇賀新収入役は、県林務課長補佐、同開発総室技監、三和農協専務理事などを歴任、温厚篤実なタイプで、今後の庁舎建設、農協合併に伴う財政運営に期待されています。

川添前収入役は、昭和二十三年大篠村書記を振り出しに、二十六年同収入役、三十一年香長村収入役、三十四年市合併と共に初代収入役に就任、西村、池川、金堂の三代市長、三期十二年を務める。この間、財政再建団体としての資金繰りや指定代理金融機関(各農

協)を通じて収入、支出事務のスピード化、住民サービスの徹底を計る。三十八年県下の市町村に先がけ伝票会計事務を取り入れ事務の簡素化、正確化を計ったことは特筆され、地味な財

務会計の分野に大きな功績がありました。

宇賀新収入役の横顔

明治四十二年生まれ、六十二歳。昭和六年宇都宮高等農林卒、同年高知富林局勤務、十八年海軍省航空本部、二十二年農林省高知資料調整事務所林業課長、二十五年県林務課長補佐、三十七年県開発総

室技監、四十六年三和農協専務。士族の生まれ、通称「東宇賀」の田舎、斗酒を好み、飲むと愉快な話が飛び出る。妻を愛し、盆栽を愛する愛妻型。二男一女は市外に、里改田の自宅には妻喜美(五四)さんと二人暮らし。

消防団長に秋山市郎氏

明郎活発な実戦の人



秋山市郎氏

市は任期が満了した消防団長に副団長の秋山市郎氏、欠員となつ

た副団長に前派分団長の浜田駿氏を任命しました。

秋山新団長は、昭和十四年、田久礼田村消防団員を振り出しに後免町、南国市副団長などを歴任、第三代目の市消防団長に就任しました。

秋山新団長の横顔

明郎活発な実戦派の斗将、火災災害現場での陣頭指揮、情勢判断は抜群、非常に社交性にとみ、誰とも気軽に話し合う態度は、全団員に好感を持たれています。大正三年生まれ、五十七歳。植野の自宅には、妻富美さんと一男二女があります。

山本広報委員長

県支部長に決まる

日本広報協会(小林与三次会長)高知県支部が結成され、市の広報委員長山本尚一氏が初代の支部長に選ばれました。

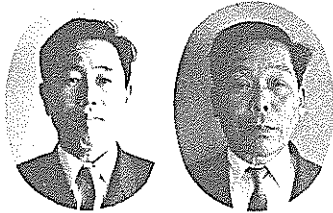
この支部は、県下の市町村広報担当者がお互いに密接な連絡をとりながら、よりよい広報、公聴活動を行なうため、調査、研究するものです。

広報功労者の表彰

土居太興さんらに

広報功労者の表彰は、このほど中央公民館で行なわれ、市の広報委員として功績のあった土居太興さん、田中隆夫さんを表彰、金堂市長から表彰状と記念のたてが贈られ、広報委員として協力された東条五郎さんに感謝状と記念品が贈られました。

市の広報委員会は、十二人(一般市民六人、市の職員六人)で構



田中隆夫さん

土居太興さん